

平成30年度 第1回 津久見市観光戦略会議 議事要旨

1. 実施概要

(1) 日時・場所

日時：平成30年6月27日（水）13時30分～15時

場所：津久見市役所大会議室

(2) 委員（※敬称略）

川野 幸男（委員長）	津久見市長／津久見市観光協会会長
佐藤 公一（副委員長）	津久見市観光協会副会長／ 大分海運㈱代表取締役社長
阿部 晴彦	大分県中部振興局地域振興部長 （主事 萱島 雄治 代理）
荒川 孝二	（公社）ソーリズムおおいた専務理事
原尻 育史郎	津久見商工会議所専務理事
林 泰照	大分銀行津久見支店長
井上 千鶴	J Aおおいた南部事業部女性部津久見支部長
北山 雅	津久見商業協同組合理事長
田中 平	つくみイルカ島館長
高瀬 幸伸	NPO法人まちづくりツクミツクリタイ理事長
後藤 慎二	津久見タクシー㈱代表取締役社長
稲吉 貴之	大分バス㈱貸切営業部旅行センター所長
三股 秀明	大分合同新聞社編集委員長
石井 達紀	津久見市経営政策課長
佐護 達朗	津久見市農林水産課長 （主幹 山本 泰浩 代理）
小畑 春美	津久見市生涯学習課長

(3) 事務局

旧杵 洋介	津久見市商工観光・定住推進課長
関 佳美	津久見市商工観光・定住推進課主幹
長 英一郎	津久見市観光協会事務局長 （商工観光・定住推進課付業務支援）
渡辺 直樹	津久見市商工観光・定住推進課主査
吉谷地 裕	津久見市観光協会事務局次長 津久見市観光DMO推進コーディネーター （公財） 日本交通公社主任研究員
河野 由芽	津久見市観光協会事務局員 （商工観光・定住推進課付業務支援）

2. 議事要旨

1. 開会

2. 委員長あいさつ

- ・ 津久見市は今年度、組織改正と人事異動があり、(公財)日本交通公社からも新たな人材を招き、新たな視点から取組が進められている。
- ・ 昨年度は台風で厳しい年だったが、今年は、津久見の観光地域づくりにとって重要な年である。昨年の台風第18号水害からの「復興元年」の取組の中でも、観光も活力づくりの面で大きな役割を果たすことが期待されている。秋の「国民文化祭・おおいた2018」では、「地球の歴史と繋がる宇宙ロマン〜津久見」と題し、文化振興財団が実施するJAXAとJAMSTECによる初の同時企画展とも絡めて、津久見の網代島、石灰石の活用促進が期待される。メディアでも、週刊ベースボール「夏の甲子園100回記念号」で津久見高校が特集されたほか、読売新聞の英字版では保戸島が大きな紙面で特集された。昨年つばさちゃんの誕生で話題となったつくみイルカ島では、今年の夏頃に2頭目のイルカの赤ちゃんが人工授精により誕生する可能性が高い。
- ・ 今年は話題も多く、様々な取組が今年の良い流れにつながってきていることを感じる。これらを交流人口増や観光消費による経済波及効果の拡大につなげることが期待される。MICEをキーワードに、津久見の活力強化へとつなげる視点も重要だろう。ブロードバンドの拡大により、来年度途中までには市内全域に光ケーブルが整備されることも追い風となる。
- ・ 本日は盛りだくさんの内容だが、積極的な議論をいただき、本市観光を盛り上げていくことができればと考えている。本日はよろしくをお願いしたい。

3. 委員紹介

- ・ 事務局より異動に伴う委員交代の説明があった。

4. 議事

(1) 平成29年度津久見市観光戦略の進ちょく状況について(資料2・3)

(2) 平成29年度地方創生推進交付金事業の進ちょく状況について(資料4)

- ・ 「資料2 観光消費による経済波及効果推計値」「資料3 平成29年度津久見市観光戦略事業評価シート」「資料4 平成29年度地方創生推進交付金事業評価シート」「その他参考資料 イルカ研究サミットinつくみ冊子」について、事務局より説明があった(一括審議)。

5. 報告

(1) 平成30年度地方創生推進交付金事業の概要について(資料5)

(2) 津久見市企業立地促進条例、生産性特別措置法の概要について(資料6)

- ・ 「資料5 平成30年度版 地方創生推進交付金を活用した観光関連事業」「街なか賑わい創出事業及び食メニュー開発促進事業説明資料」「資料6 津久見市企業

立地促進条例、生産性特別措置法の概要」について、事務局より説明があった（一括審議）。

（３）「津久見ひゅうが井キャンペーン」について

- ・ 「津久見ひゅうが井キャンペーン」について、チラシ及び当日配布資料（掲載雑誌コピー等）に基づいて事務局より説明があった。
- ・ また、合わせて、事務局から「津久見暮らしの体験博覧会・津っぱくーseason2ー」について、委員から小冊子「つくみのカンヅメ」、「イルカミニコンサート」、まちづくり推進事業「パブリックビューイング」について説明があった。

※参加委員による意見等（事務局による要約）

- ・ 一部事業は台風災害により事業が未実施となったことから、今後の取組強化が必要である。
- ・ 「資料２ 観光消費による経済波及効果推計値」のデータ数値は、有効桁数を考慮した表記に改めるべきである。
 - ご指摘どおり資料を修正したい（事務局）。
- ・ 「資料３ 平成２９年度津久見市観光戦略事業評価シート」における中心市街地活性化の取組評価について、進ちよくは順調であるとの評価であるが、一方で商店や飲食店等が効果を本当に実感できているのか懸念される。今後は更に、市中心部の活性化の取組など、関連する施策との歩調を合わせ、計画的に進めていくことが重要である。
- ・ ツクミツクリタイはこのたびＮＰＯ法人化した。まだ財源などの課題が多く、手弁当の小規模な取組が大半であるが、少しずつ津久見の観光地域づくりに貢献していきたいと考えている。
- ・ ツクミツクリタイは手さぐりで様々な取組を行っていることをまずは評価したい。これらをどう次につないでいくか、コンテナ２９３号やカフェ１／２をどのように有効活用していくか、今後の取組に期待したい。
- ・ 津久見ファンネットワークに関連して多くの取組が順調に進められているが、「津久見市観光大使」を効果的に活用した情報発信を検討されたい。また、南阿蘇との交流は３回目であるが、今後の展開も期待したい。
 - 観光大使の更なる活躍の場を検討したい。津久見ファンネットワークは、まずは東京や愛知、関西、福岡などの津久見出身者等をつなぐ取組として強化を図っていきたい（事務局）
 - ふるさと納税特産品等での情報発信での連携、観光大使の拡大など、活躍・人材の幅を拡大する取組を検討していきたい（事務局）
- ・ ツーリズムおおいたは九州初の地域連携DMOとして登録された。専門人材が非常に重要だと考えている。津久見も専門人材を配置したが、隣の佐伯市観光協会もクルーズ船誘致などで非常に優秀な専門人材を配置し、マーケティングではリクルート・じゃらんと連携、海外誘致ではH I Sから職員を配置した。専門人材が協力するメリットは大きい。
- ・ 「津久見市農業再生委員会」では、市内遊休みかん農地への就農を募集しているが応募が少ないという課題がある。個人を探すことに加えて、企業等の余暇利用や働き方改革との連動などにより、津久見に農作業をしに来て、ひゅうが井も食べて帰る等、市内行事等と連携して関心を高める企画も効果的であると考えてい

る。ぜひ前向きに取り組んでいただきたい。

- ・ 農林水産課でも県農政出身の専門人材を迎えて取組を展開している。その1つとして、三重大学及び県内企業と連携してイルカ由来乳酸菌を培養したヨーグルトの開発を進めている。観光と連携し開発を進めたい。
- ・ 市中心部活性化に向けた遊休地・空き家等の開発については、銀行との連携も想定しているのか。また、「市中心部活性化にむけた検討委員会」とも連動していくと考えて良いか。
 - 本事業は、商工会議所を含む「周遊活性化協議会」が取り組むもの。「市中心部活性化に向けた検討委員会」と連動する。資料に示す体制は理想形ではあるが、金融機関との連携が要点の1つになると考えている。その際にはぜひ協力を賜りたい（事務局）。
- ・ 豊後水道では外洋性のサメが捕獲される。我が国はサメを食べる習慣は限定的で練り製品程度にしか使われないが、南米や東南アジアでは唐揚げやバーガーなどで食され好評である。豊後水道に面した立地を生かし、「シャークバーガー」等の特徴的な企画を検討しても良いのではないかと。
 - 市内各飲食店や漁協とも協議して、前向きに検討したい（事務局）
 - 市内事業者が本市主幹産業である石灰石・セメント産業に因んで、セメント袋を模した饅頭「セメント饅頭」を開発した。中身もセメントをイメージした餡が使われている。こうした特産品開発も各団体と連携し積極的に後押ししていきたい（事務局）。
- ・ 津久見市の力をつけていくための色々な取組が進んでいる。うまくいっているものあれば軌道修正が必要なものも出てくるが、色々なことに積極的に取り組むことが重要だ。合わせて、近隣の臼杵市、佐伯市、延岡、日向も含めた豊後水道との連携、高千穂、豊後大野も合わせた山間部との連携、豊後水道を挟んだ向かいの八幡浜や宇和島との連携なども考える必要がある。こうした広い視野を持った動きが活性化することを期待したい。復興元年として、市民に活力を与える取組をスピード感を持って取り組んでいく必要があると考えている。皆様の知恵・協力をいただきたい（委員長）。

7. 諸連絡

- ・ 事務局より「イルカミニコンサート」の開催、「第68回つくみ港まつり花火大会」の開催について案内があった。

8. 閉会

以上